

事務事業評価

平成 26 年度

担当課 保険健康課

基本事項	事務事業名	人間ドック等事業			整理番号	1103
	根拠法令等	健康増進法		実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第8章 健康で生きがいある生活を支える	予算科目	4 款 1 項 4 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規	
		節 第1節 保健・医療の更なる充実	事業区分	市民サービス事業		

事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	ドック健診は、病気の早期発見、早期治療を目指し始められた。近年、生活習慣病の早期発見、早期予防の役割も大きくなっている。市民の健康意識の高まりにより受診者も多くなっているが、とくに、平成11年度から開始した脳ドックについては、定員数を大きく上回る申し込みがあっている。				計画期間	始期	平成	年度から
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)	人間ドック、脳ドック共に40歳以上の市民を対象としている。予算の範囲内で受診(助成)対象者を決定し、ドック健診にかかる費用の一部を助成している。健診費用を助成することで市民の負担を軽減し、より積極的に市民の健康増進を図る。また、ドック健診によって病気の早期発見につなげ、重篤な疾患を未然に予防し、市民の健康長寿を推進する。				終期	平成	年度まで	
	目的達成のための 具体的手段・方法	ドック健診は、専門性の高い健診であり、各種検査項目に対応できる機器や人材を確保し対応可能な医療機関・検査機関へ委託することで健診事業を実施している。具体的には、人間ドックに関しては、市内の場合、島原市医師会との契約により対応可能な市内の医療機関で半日または1日で健診を行っている。市外の場合は、人間ドックを委託可能な4医療機関に委託している。脳ドックに関しては、対応可能な市内4医療機関へ委託している。							
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名称等(内容)		単位	24年度	25年度	26年度		
		①人間ドックの受診者数 目標値: 検診機関等の受け入れ可能人数 620人		目標 実績 達成率	人	620	620	620	
②脳ドックの受診者数 目標値: 検診機関等の受け入れ可能人数 320人 ・H24年度 申込者数 492人 受診実績 305人 ・H25年度 申込者数 491人 受診実績 303人 ・H26年度 申込者数 550人 ※申込者が定員を上回るため、抽選により受診者を決定している。 当日、体調不良等で受診が困難になった者がいるため、受診実績が定員を下回っている。		目標 実績 達成率	人	320	320	320			
活動指標 (目的達成のために 行った活動実績)	①各ドック健診の募集周回数 ・広報折込み(2種類、1回)		目標 実績	回	1	1			
			目標 実績	回	1	1			
			目標 実績						

区分	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	
	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画	実績値	実績値	実績値	計画
①直接事業費(千円)	23,045	23,986	24,264	24,181	27,488	27,488						
財源内訳	国 県 支 出 金											
	地 方 債											
	そ の 他											
	一 般 財 源	23,045	23,986	24,264	24,181	27,488	27,488					
②従事職員給与費 b1×b2	4,157	4,486	4,876	5,338	5,415	0						
従事職員数(人) b1	0.58	0.62	0.67	0.74	0.74	0.74						
職員平均人件費 b2	7,168	7,236	7,277	7,213	7,317							
事業費合計 ① + ②	27,202	28,472	29,140	29,519	32,903	27,488						

【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている ドック健診により自覚のない疾患を事前に発見すれば、医療費抑制に効果があり、事業の必要性は高くなってきている。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 事業については、島原市医師会や医療機関を活用して実施している。	A
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適切しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 ドック健診は、事業効果を高めるため年齢制限を設けている。特定健診と重複受診をしないように指導している。	A
有効性	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか (成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成)	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 市民の健康志向への高まりとともに希望者や参加者も増加しており、目標は達成されている。	B
	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 市民の健康意識は高まってきており、継続して実施していくことが重要である。	A
効率性	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか (活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成)	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 効率的な運用に配慮しながら指標を達成できている。	A
	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 検査項目や検査方法など改善できる部分については、医師会、専門医との協議会により適宜改善している。	B
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある 市、医療機関、関係団体それぞれが実施できる部分に取り組んでいる。	A
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 対象者については、広く市民から募っている。ドック等については、医療保険を参考に、内容に応じて受益者負担を設定している。	B
	⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか	A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要	A
判定評点平均（3点満点） A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算			2.70

◎ 総合自己評価（所管部署）		判断理由
評価結果	<input checked="" type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)	
今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等) 市民の健康意識の高まりにより、脳ドック、人間ドック等の受診希望者も増加しており、財源の確保、自己負担額及び実施医療機関の受け入れ態勢等を含めた検診のあり方について検討が必要。	
・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載ください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。		

【2次評価】

総合判定	B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善
備考	病気の早期発見早期治療に対する効果は理解できるが、受益者負担について、他市との状況を勘案し、適正な負担額設定を図られたい。

【3次評価】

総合判定	A 継続実施（特段の見直しは行わない）
備考	費用の増大抑制と受診率に注意しつつ事業を継続する。

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input checked="" type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	△ 1,525 (千円)